

第1回瀬戸内島旅活性化研究会

【設置趣旨】

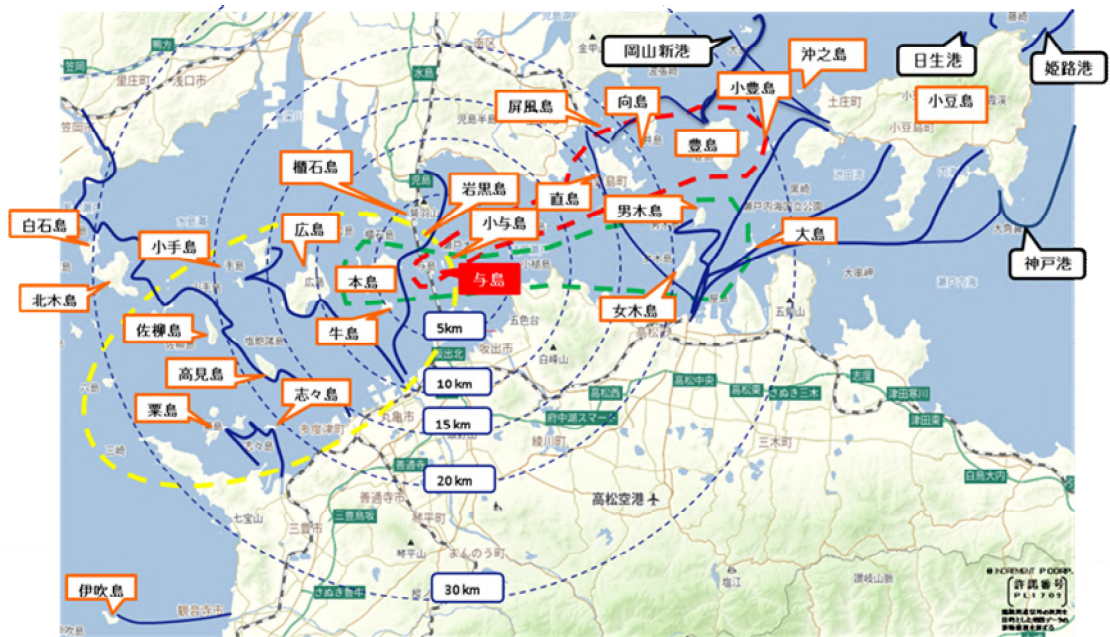
○現在、全国的に多くの離島が、人口減少、高齢化等の課題を抱えている。その一方で、瀬戸内海は、島・海の織りなす優れた景観に恵まれ、海を通じた交易・交流拠点として栄えてきた歴史がある。今後、瀬戸内の地域振興を図る上で、これらのポテンシャルを活かした島旅の活性化はまさに重要課題であり、特に今後の2022 瀬戸内国際芸術祭、2025 大阪万博を見据えた場合、喫緊の課題と考えられる。

○そうした中、今回の研究会は、島らしい豊かな自然・原風景との触れ合い、塩飽独自の歴史・文化の堪能等の高いポテンシャルを有しているにもかかわらず、直島諸島と比べまだまだ観光来訪者が少ないとされている塩飽諸島を主な検討ターゲットとし、備讃瀬戸全体の島旅の魅力向上への貢献に取り組むこととする。

○これらの観点から、研究会においては、

- ①島民の方々との連携による自然環境、歴史、食文化等の地域資源を活かした魅力度の高い体験コンテンツの企画
- ②これらを組み込んだストーリー性の高い島旅周遊ツアーの企画
- ③効果的な塩飽諸島の観光資源関連情報の発信

等の提案を行い、これらについて、有識者、民間事業者、DMO、自治体、行政機関等による一体的な議論を通じた有効かつ実効性の高いアウトプットを打ち出していく方針。



【構成員】

○有識者

(座長)

原 真志氏 香川大学大学院 地域マネジメント研究科長

(以下、五十音順)

池田 信浩氏 日本放送協会 高松放送局長
 片山 雅大氏 株式会社 MELZ 代表取締役
 加藤 琢二氏 一般社団法人日本旅客船協会 副会長
 小西 智都子氏 株式会社 SETOUCHI SEAWIND 代表取締役
 小林 希氏 株式会社 Office ひるねこ 代表取締役
 横山 昌太郎氏 森林インストラクター

○島民の方々 本 島：信原 清氏 丸亀市本島地区地域づくり推進協議会
 ふれあいの本島 副会長

広 島：平井 明氏 丸亀市広島地区連合自治会 会長

志々島：山地 常安氏 三豊市詫間町志々島自治会 会長

栗 島：平木 利明氏 三豊市栗島海洋記念公園 ル・ポール栗島 支配人

○民間事業者(五十音順)

穴吹エンタープライズ株式会社、株式会社穴吹トラベル、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社近畿日本ツーリスト中国四国、株式会社JTB、琴平バス株式会社、四国旅客鉄道株式会社、高松空港株式会社、有限会社ロワール商事

○DMO・観光協会等

公益社団法人香川県観光協会、児島商工会議所、一般社団法人四国ツーリズム創造機構、一般社団法人せとうち観光推進機構、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション、一般財団法人丸亀市観光協会

○行政機関(国)

農林水産省中国四国農政局、国土交通省四国地方整備局、国土交通省四国運輸局、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所

○行政機関(自治体)

香川県、高松市、丸亀市、坂出市、三豊市、土庄町、小豆島町

○事務局

香川大学大学院地域マネジメント研究科、本州四国連絡高速道路株式会社